

ささやま 市議会だより

第 2 号

平成11年11月19日発行



全山紅葉の王地山公園

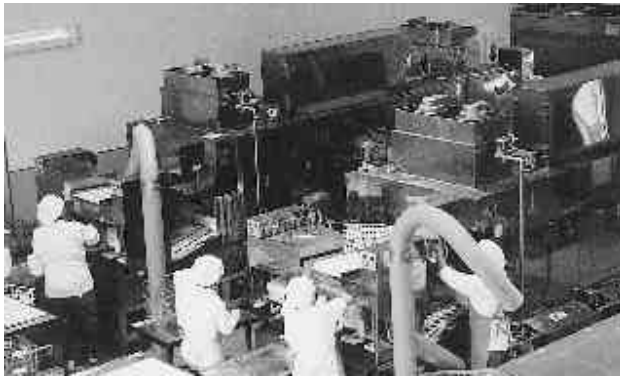
おもな内容

- ◆ 決算認定 P 2~4
- ◆ 一般質問 P 5~14
- ◆ 主な議会審議内容 P 15
- ◆ 陳情・要望をうけました P 16

十年度決算認定

厳しい社会経済情勢にあつて平成十年度は、合併を見据えつつ新しい時代に向けた町づくりの推進のため、積極的な事業展開がされてきた。
 平成十年度の決算については、篠山町、西紀町、丹南町、今田町、及び広域行政事務組合ともに三月末日をもって打ち切り決算とし、歳入歳出を計上した。そのため大半が赤字決算となつているが暫定予算に繰り越し、新市で調整されている。
 四町おのおの一般会計、特別会計、企業会計の十年度決算が上程され、賛成多数をもって認定した。

篠山町決算認定



篠山給食センター

一般会計歳入歳出決算額は、歳入において百七億八千八百二十万円、歳出は百十六億八千五百六十五万円、歳入歳出差し引き八億九千七百六十三万円の赤字決算となつた。
 なお年度内地方債の発行額は四億八千四百四十万円である。十年度事業は

- 地域個性を生かした均衡ある郷土の発展。
 - 人輝く、心豊かなまちづくり。
 - 明日を拓く、産業社会の創造。
- を基調に展開され、町内幼、小、中学校を対象とした給食センターの建設、チルドレンコミュニティ
- ◆国民健康保険では、住民の健康づくり事業や医療費の適正化対策等、積極的な取り組みがみられるが保険税の延滞解消に努力を傾注されるよう促した。
- ◆老人保健特別会計は、老人保健法医療給付事業費二十三億五千二百六十万円となつている。



村雲浄化センター

- ◆国民健康保険では、住民の健康づくり事業や医療費の適正化対策等、積極的な取り組みがみられるが保険税の延滞解消に努力を傾注されるよう促した。
- ◆老人保健特別会計は、老人保健法医療給付事業費二十三億五千二百六十万円となつている。
- ◆住宅資金特別会計は、未償還金の回収に一層の努力を図られるよう要望した。

西紀町決算認定

- ◆宅地造成事業については、ハートピア北条団地の販売促進に工夫され、早期実現に向け更なる努力を要請した。
- ◆土地取得会計は、歳入歳出共に、六百四十一万円となつている。
- ◆公営企業三会計のうち、一般会計については、歳入、三十二億三千百一十一万円。歳出、三十六億一千二百二十五万円、合併に伴う早期決算となつたため、三億八千百四十四万円の赤字決算となつた。

- ◆健康に満ちた幸せの町づくりのため、地域福祉の充実を図り、福祉センター、しゃくなげ会館、シルバー人材センター等の改修工事一億五十七万円。
- ◆地域農業の振興拠点として「黒豆の館」のオープン、駐車場等の整備のほか用地確保に五千

- ◆住宅資金特別会計は、未償還金の回収に一層の努力を図られるよう要望した。
- ◆農業集落排水事業では順調に事業推進がなされている。
- ◆公共下水道事業は、計画にそつた事業推進と水洗化の普及への啓発を要請した。
- ◆公営企業三会計のうち、一般会計については、歳入、三十二億三千百一十一万円。歳出、三十六億一千二百二十五万円、合併に伴う早期決算となつたため、三億八千百四十四万円の赤字決算となつた。
- ◆健康に満ちた幸せの町づくりのため、地域福祉の充実を図り、福祉センター、しゃくなげ会館、シルバー人材センター等の改修工事一億五十七万円。
- ◆地域農業の振興拠点として「黒豆の館」のオープン、駐車場等の整備のほか用地確保に五千

3 決算認定



本郷第3団地

◆道路整備事業については、西谷打坂間のトンネル工事が平成十四年度供用開始に向け実施設計。自治振興事業は本郷中央線。緊急地方道整備事業は西紀丹南線。過疎対策事業は新田川西線他三路線。町単独事業として、西谷西線ほか十九路線の事業展開となった。

◆学校教育環境の整備充実を図るため、西紀北小、西紀小、西紀南小の整備改修、備品購入等に四千二百八十四万円。

◆斎場建設については、栗柄地区住民、地権者皆様のご協力とご理解により用地確保ができた。

特別会計
歳入二十三億四百三十

◆道路整備事業については、西谷打坂間のトンネル工事が平成十四年度供用開始に向け実施設計。自治振興事業は本郷中央線。緊急地方道整備事業は西紀丹南線。過疎対策事業は新田川西線他三路線。町単独事業として、西谷西線ほか十九路線の事業展開となった。



市道西紀丹南線改良工事

◆生活排水処理対策事業については平成元年度に基本計画策定以来、平成十一年度をもってすべて完了予定である。簡易水道については、北部地区の配水管老朽化が著しいことから基幹施設改良工事を実施。

◆「安心して暮らせる健康と福祉の増進」については介護保険事業計画の策定、介護認定モデル事業の取り組み、障害者の社会参加を促進するための共働事業所の建設。

◆駅西土地地区面整理事業実施地区にコミュニティ消防センター用地の確保。

◆生活排水処理対策事業では、城南地区のコミュニ



にぎわう丹波旬の市

丹南町決算認定

◆「安心して暮らせる健康と福祉の増進」については介護保険事業計画の策定、介護認定モデル事業の取り組み、障害者の社会参加を促進するための共働事業所の建設。

◆駅西土地地区面整理事業実施地区にコミュニティ消防センター用地の確保。

◆生活排水処理対策事業では、城南地区のコミュニ

◆「安心して暮らせる健康と福祉の増進」については介護保険事業計画の策定、介護認定モデル事業の取り組み、障害者の社会参加を促進するための共働事業所の建設。

◆駅西土地地区面整理事業実施地区にコミュニティ消防センター用地の確保。

◆生活排水処理対策事業では、城南地区のコミュニ

生涯学習センター建設に向けた取り組みが進められる。

◆教育施設の整備充実では、大山小学校の全面改築、城南小学校の増築、丹南中学校のグラウンド改修および障害者トイレの設置工事が行なわれた。

◆国民健康保険および老人保健の両特別会計は一億一千万円余りの赤字決算となっている。水道事業会計では給水戸数は一・八パーセントの増で、営業外収益では、二五・三パーセントの減額。これは開発に伴う給水協力金の減がその要因である。



完成間近の集末処理場

今田町決算認定

一般会計財政状況は歳入二十九億四千二百十九万円、歳出二十九億四千五百二十万円で、歳入歳出差引、百六十七万円の黒字決算となっている。財政状況は財政力指数が、〇歳一九二で過去の推移からみると上向いている。経常収支比率は、七六歳三パーセントである。前年度より一歳一ポイントの悪化であるが、同規模の類似団体と比較すると、合併前にかかわらず、堅調に取り組みがなされたと認められるが、新市で新たな意欲ある施策展開を要望する。

歳入について、町税の徴収率が悪化している

「ささやつ」ホール完成に伴いその運営について積極的な取り組みを計られたい。林間学校の利用減は県と連携を図り対応策を期されたい。教育においては義務教育をはじめ、社会教育等文化活動や、公民館事業など、積極的に取り組んできたところである。

特別会計
健康のまちづくりとして、初年度は今田診療所の開設を行ったが赤字となった。今後の努力が必要である。生活排水事業では、小野原処理区、芦原木津処理区の早期完成を目指して来た。立杭処理区は本格工事に着手し、西部処理区は事業認可に向け取り組んできた。

なお審査の中の意見としては、中山間地域総合整備事業の取り組み組織の充実が必要。

一般会計では歳入一億二千九百二十万円、歳出一億二千四百四十九万円、差引残額四百三十五万円の黒字決算となった。

病院群輪番制事業、斎場建設等、委託料について討議した。

広域行政特別会計
あさぎり苑特別会計では、生活排水処理事業の進展に伴い、し尿の汲み取り量が減少し、



今田町商工会館

多紀郡広域行政事務組合決算認定

浄化槽汚泥の処理量が増加するなか、人員減少により住民サービスが低下していないか検討を求めた。

清掃センター特別会計では、施設整備計画の策定と用地の取得、敷地造成工事が進行中であるが、ダイオキシン対策等万全であるかを問う。今後の取り組みとして排水池の整備や残灰の適性処理、人体



小野原処理区処理場

への影響等調査研究のうえ適切な対応を求めた。

消防本部特別会計では、施設の整備、予防消防の徹底等、消防体制に努力がみられた。交響ホール特別会計は篠山町に委託し黒字決算となっている。

訪問看護ステーション特別会計では、平成十年六月一日開所され、設備並びに整備が図られている。

農業共済事業会計では、共済掛金未収金の回収に努力されるよう要請した。

市長！ どうする、どう考える!?

一般質問は、9月27日、28日の両日にわたって行われ、19名の議員が登壇。市政全般にわたって質問、提言などを行った。

総合的な

「障害」者施設を!



植村 義昌 議員

問 福祉の時代といわれ、「障害」を持った人との共生が叫ばれて久しい。ノーマライゼーションの理念が広く市民に浸透し、深化しているか検証しなければならぬと考える。

篠山市では旧町時代、県下唯一の篠山養護学校を開設し、運営がされてきた。さらに市内には「障害」者が生活し、通所し、働く施設や事業所が九カ所におよんでいる。近年

「障害」者の地域での生活を総合的に支援する生活支援センターをはじめ多くの機能を備えた総合的施設の要望が強いが、市長の所見を伺う。他に住民ニーズに沿った事業計画を!

場・行き場所は限られている。今後、市全体の「障害」者施設福祉問題について、総合的な計画を早急に立案し、ノーマライゼーションとリハビリテーションの構築に向けて努力してまいりたい。

住民ニーズに沿った、事業計画については、合併特例債を積極的に活用し、健全財政を堅持しながら、充分検討を加えていきたい。

当面する学校教育の課題 にどう立ち向かうのか



上田 和夫 議員

問 新たな差別を生む現実の競争社会の中で、相手のことを思いやる人権思想をどう育てるか。かけがえのない、世界でただ一つの個性を、望ましい中学生の姿という規格に押し込め、みんな

一緒という全体主義からはみ出したり、こぼれたりする個性を、問題児として疎外してはいないか。教育現場で吹き出しているさまざまな歪みに立ち向かう教師の、教育者というより人間としての

力量が問われているが、教師の実践指導力の向上をどうするか、具体的な方策を問う。

教育長 子どもたちの人間関係を活性化させ、社会参加を促すため、各学校の教育過程に基づきさまざまな活動や体験を通して生命の大切さや思いやりの心など人権にかかわる心情をばくんでいく。生徒が自主的、主体的に申し合せたきまりにつ

いて、それぞれ個性の伸長や人権を尊重することに問題をおよぼさないよう、より一層人権に配慮し画一的な指導にならないよう留意していきたい。



ネパールの子どもたちとの交流



篠山養護学校

中央図書館の建設と 運営について



石塚 精一 議員

問 読書は忍耐力、集中力、思考力をつける。図書館は市民にあらゆる資料を提供する機能を持たねばならない。立派な図書館をつくるためには十分な準備と検討が必要である。

司書の資格を持った職員を配置せねばならないし、年間の図書購入予算も充分確保されねばならない。広い市内のすべての市民に図書館を利用していただくために、将来は分館の設置を検討せね

ばならないが、当面は移動図書館の活用や学校、公民館の図書室との連携をはからねばならない。ほかデジタルコンテンツのシームレスな運営について。

市長 中央図書館の建設場所等は、四季の森周辺と位置付け、検討したい。図書館を考える集い等民間活動が活発に展開されるなか、基本計画検討委員会をスタートさせた。「慎重に検討すべきだ」との意見もありますが、

開設時期が大幅に遅れることのないよう、本年度は基本設計、来年度は実施設計に着手したい。生涯学習に対応し遠隔地の方にも不便にならないようにしたい。建設後の運営がスムーズに行えるよう、専門知識者など運営に携わる職員を配置し、運営体制も平行して進める。

新市のシンボルタワー 市民ホールの早期実現を



木戸 夕 校議員

問 「合併してよかった」といえるまちづくりの施策として、全市的市民ホール、日本一を誇る施設整備の早期実現が急務であると思うが、いかがか。各地域ごとにコミセンや公民館等、公的施設を

利用したコミュニティ活動が活発になされている。ところが、篠山市全体を対象とした時、市民全体、県、国レベルの対応ができない状況にあり、今合併特例債を運用し、合併してこそできる必要

不可欠な多目的総合市民センター（シンボルタワー）の建設を問う。ほかに現在の市民会館、旧篠山西庁舎整備を問う。

市長 多目的市民ホールは、基本的に市民全体が活用される場であり、市民の意見が充分反映できるように委員会等の設置を考慮しながら、国、県レベルの活用も視野に入れ、場所と規模、機能についてできる限り早い機会に検討したい。

現在の市民会館は庁舎として活用したい。関連して旧篠山町役場西庁舎周辺整備については、地域活性化対策と共に、篠山小学校区を対象とした地域コミュニティセンターと交響ホールとの分館としての活用もできるような整備方針を明らかにしたい。



市民ホールの建設が待たれる市民会館



現在利用されている図書館

公施設の管理委託について



前川 正議員

問 文化施設、体育館等いわゆる箱物を作ると、その後の維持管理に相当の経費を要する。住民自らが利用する公共施設を民間に委託した場合、公立の五割から一割程度の低いコストで済むという

学会の試算も発表されている。その違いは官と民との働き度の違いが挙げられている。自治体は事務事業執行にあたり、最小の経費で最大の効果を上げるのが大原則であり、そのことで住民の福利を

拡大できるとしたら真剣に民間委託を検討すべきである。

市長 篠山市の公的施設は本庁舎、支所、学校施設、公民館、体育施設、図書館、保育所、デイサービスセンター、診療所等に統合整備はできない。

例えば、給食センターは当面市の施設として整備し、人的対応と共に充足していることから外部委託の効果は少ない。

施設整備中の清掃センター、チルドレンズミュージアム、新市で計画推進中の斎場建設、図書館等は効率的な管理運営を検討する。施設の有効活用は民間委託、自主運営共に今後慎重に検討したい。

〃仮称〃残上処理条例の制定及び各自治体による廃棄物ダムの建設



松本 一等議員

問 廃棄物処理法では残土を廃棄物に入れていない。残土に関する法律もない。あるのは一部の自治体が定めている条例である。本市では宅地開発五百平方メートル以下であっても許可が要る。森林法は

一万平方メートル以下は何も要らないのが現状である。土砂等の埋め立てによる土壌汚染の防止、土砂の崩落、流出等の災害発生の防止、不適正な埋め立ての監視、住民からの苦情の処理等について県

と協力して取り組む責務を担い、残上処理の縮小等に関する条例の制定を。

市長 山林では、一万平方メートル以下の開発で、土砂採取、残土処分等の一時的な転用であるものについては、許可を必要としておらず、法規制の対象となっていない。

本市のまちづくり条例でも、他法令との整合性を図るため対象外としている。

今後こうした開発行為を追従させないためにも、事前に利害関係者、地域住民の方々の合意、災害発生の恐れのある開発行為には土地を提供しない姿勢、施策としては先進地の条例等を研究し前向きに検討する。



急がれる残土処理条例



さざそうホール

有害鳥獣対策への助成



渡辺昌吾 議員

問 猪、鹿等の農作物への被害が年々拡大している。被害は、生育全期にわたり、ただでさえ生産性の低い山間農地にしわ寄せられ、対策に多くの費用と労力を費し生産意欲の減退となっている。

三つの対策と助成を要望する。

一、山振、自治振の大幅導入で本格的な防護柵を。できない地域には電気柵、トタン、網等弾力性ある助成と予算増大を。

二、丹南、今田地区の雌

鹿狩猟禁止区域の解除を県へ強く陳情。

三、猟友会へのさらなる協力要請と、それに見合う財源対策を。

ほかに職員配置の適正化への見直し。

市長 篠山市の基幹産業である農作物の鳥獣被害が最近数多く報告されている。助成は、昨年は各町の取り組みが異なっていた。

本年度は防護柵の材料費十五%の助成、五地区



有害鳥獣の防護柵

青少年健全育成のための非行防止と薬物乱用防止対策について



飯田成代 議員

問 近年青少年の非行化は低年齢化し、スパーでの万引き、自転車盗み等罪悪感がなくゲーム感覚でなされていると聞いており、篠山警察署管内での補導される青少年の数が増加の傾向にある。

また、薬物乱用についてもファッション感覚で使用するなど薬物の危険性有害性についての認識が欠如していることがあげられている。

非行防止、薬物乱用防止に対し地域社会、学校

家庭が連携のもと正しい理解と認識が必要だと考えるが、その具体的な啓発活動について問う。

教育長 青少年を取りまく社会環境はますます厳しく、凶悪、粗暴な少年犯罪や薬物の乱用等問題行動が多発し、青少年をめぐる状況は極めて深刻であり、篠山市内においても青少年犯罪は増えつつある。

子どもたちに罪悪感がなくなっている背景とし

で設置申請を受けている。広域的な取り組みは国、県補助事業の導入を図り対応したい。野生動物保護対策で捕獲禁止であるが、三力年ごとの見直しで来年度検討委員会で決

定される。市としても強く要望していく。

捕獲許可について、鹿は県知事、猿、猪、カラス等は市長許可、駆除班に対しては報償も考えた出動を検討したい。

家庭、学校、地域社会が一体となって連携を密しながら共同で街頭補導活動や啓発活動に取り組んでいく。

覚せい剤

精神障害
興奮、不安、パニック、幻覚、妄想、暴力、自殺、依存症

瞳孔散大

食欲減退(衰弱)

血圧上昇

腎臓炎

シンナー

脳
神経細胞の死、記憶障害、学習障害

目
失明、視力低下、眼瞼下垂

気管支・肺
呼吸器障害、肺がんリスク

肝臓・じん臓
肝臓障害、腎臓障害

食道・胃
消化器障害

生殖系
精子減少、不育症

篠山山南線黒田地内の道路改良について



上見 きし江議員

問 黒田地内で幅員の狭い危険箇所として改良計画がされて三十年に近い歳月を要しながら、いまだ進展しないところである。

丹南三和線との交差点も交通事故が多く信号機設置が緊急な課題であるが、道路の問題で実現しない。沿道住民の心労も計り知れないところである。

市政執行方針に、国道、県道等の整備にあたって積極的な要請活動を展開

し、事業促進を支援して均衡ある快適な生活基盤の整備に努めるとある。バイパスの早期実現に向けて市の積極的な取り組みを市長に問う。

ほか、西紀丹南線の植樹帯の管理について。

市長 黒田地区においては、道路整備に向け、地域との関わりが三十年近く経過してその間幾度となく協議の場を重ねてきた。

また県土木事務所とし

ても整備案は、バイパスによる改良計画がもっとも強く、関係者と協議をいたしていたが、一部地権者の理解が得られず、現在に至っている。一足に解決できる問題ではないが沿道住民の心労、道路の持つ重要性に鑑み、ご理解いただけるよう取り組み、県当局へも一日も早い解決に向けた方策について強く要望をしていきたい。

王地山火葬場あと地の整備と、地元対応は



植野 良 治議員

問 新斎場建設後の王地山火葬場あと地の整備をどのようにする予定をしているか。

現火葬場周辺の地元住民は、建設後三十年以上辛苦に耐え協力を続けてきている。旧町当時に

地元の要望については新斎場の地元とバランスのとれた対応が必要である。

ほかに人口六万人の具体的増加対策について。

市長 跡地整備は旧町でも答弁したが、新斎場の建設計画と併行して検討し、隣接する市営共同墓地と共に墓地公園化構想を考える。この計画には地元市営墓地関係、識見者等による検討委員会を設置し協議する予定。

昨年末の地元要望
一、公園墓地化
二、長年の苦しみ
を考慮し心分の補償
三、地域振興策の実施等については誠意をもって対応する考えで、政策部を窓口として協議を開始した。

建設以来長年にわたりご理解・ご協力をいただいた地元の皆様に感謝と敬意を表したい。



跡地整備はどうする？



危険がいっぱい、早くバイパスを

篠山市を平和宣言の町に



源 一久 議員

問 今日日本では戦争に反対する世論と運動は急速にひろがり、全国で二百三十以上の地方議会が戦争法に批判する意見書を探択、また世論調査では戦争放棄を定めた憲法九条を維持すべきとした

七割近くにおよんでいることに注目される。戦後の平和の原点は、大多数の国民が支持し二十一世紀の平和の原則として引継ぐべきものであることをしめしていると思う。このような状況の中での

平和宣言は市民の幸福と相まって大きな平和的意義があると思う。市長の勇断ある答弁を。

市長 「篠山市を平和宣言のまち」にすることにについては、市発足六か月が経過し、平和宣言をすることはご指摘の通り大切なことでありますが、むしろ、市章や市の歌、また、市民憲章を広く市民参画のもとに、早急に決定することが必要であると考えている。



世界は一つ平和の像(青垣町)

篠山市が、今、平和宣言することにについては、市民の合意と盛り上がりが大切である。その方向付けを明確にした上で、

広く啓発活動を行う中から、市民皆様の認識が深まり、総意が得られた中で取り組んでまいりたい。

新市の防災計画を問う



岡本 なみよ 議員

問 震災、風水害等の災害が多発の傾向にある。新生篠山市では市民の生命、財産を災害から守るための対策として計画はどのようになっているか。地方自治法第二条では地方公共の秩序を維持

し、住民および滞在者の安全健康、福祉を保持することとなっているが、安全についてまず、中小河川の点検、橋りょう等の安全確認、道路では山くすれ、がけ崩れの危険箇所の点検、各災害時に

おける地域避難場所の増設、各種災害に対する防災計画を早急に全市民に周知徹底されたい。

市長 市としては、旧四町の地域防災計画を基に本市の災害特性を把握し、防災体制の現状、問題点、課題等を整理する中で発生直後の初期行動が重要であり、防災力の向上を目的とした組織の結成、育成につとめるなど、新しい地域防災計画を早急に策定していきたい。

また、策定については内容を検討し、県と調整を経て本年度中に完了したい。計画の市民へ周知徹底は、必要と認める事項、平時から熟知しておく必要性の高い事項を厳選し、簡潔に記載したものをも市民、事業所などへ配布し、徹底を図りたい。



更新予定の消防工作車

環境保護とゴミの収集について



藤本 忠 男 議員

問 今清掃センターへのゴミが、急激に増え続け、時間延長しなければ処理できない。ゴミの減量には徹底した分別収集が必要である。今後住民への啓発はどのようなか。また生ゴミ減量策に、各家庭

での堆肥製造機購入に補助金を出せないか。
次に、猛毒ダイオキシン類発生防止のため、塩素系プラスチックの家庭での安易な焼却防止策を問う。ポイ捨て等防止条例の、全市への拡大と、

環境保全のため、ISO・14001の取得を考えるとべきと思うが、市長の考えを問う。

市長 容器包装リサイクル法が来年度より十種類別になるので、市の計画は見直し中である。啓発は市広報や衛生委員と連携をとる。事業者には「スリムリサイクル宣言の店」を指定し、減量、再資源化に努める。各家庭へは、安易な野焼き防止を呼びかけ、生ゴミ減

量には電気式生ゴミ処理機購入への助成も含めて検討する。ポイ捨て等防止条例は、来年度より全市に拡大する。環境ISO取得については、地球温暖化対策実行計画、環境率先行動計画の作成等プロジェクトチームを構成し取り組む。

城下まち市街地の発展・活性化のために



岡前 昌 喜 議員

問 今後の街づくりについて農業の重視と共に城下町市街地の発展・活性化をはかることが重要である。一、市街地周辺の黒岡地区にホームセンターが開店し、しかも吹上地域にも大規模店が進出を

準備している。地元商店街を守る立場からどう対応されたか。二、二階町地域の道路等の環境整備と河原町の伝統的建造物群保存地区の指定を受けての整備についてはどうか。三、市立本郷図書館

は縮小でなく分館であっても現在の規模以上としての建設が社会的要請である。市街地発展の見地から以上について見解を伺いたい。

市長 一、第一種大規模小売店舗に該当するため近畿通産局が確認作業に入っている。意見聴取対象者の推薦依頼が篠山市と商工会に届くので、十分連携を保ち対応していく。

二、二階町地域は「丹波

にふさわしい景観形成地区」として指定を受け、実質的な工事着手については平成十二年度以降の見通し。河原町地域については「街並み」保存指定のための協議を重ねてまいりたい。

三、本郷図書館については基本計画の中で委員会で検討するので、ご理解賜りたい。



河原町妻入り商家群



リサイクルされるペットボトル

子供の生命・安全を 交通事故から守る



谷 貴美子 議員

問 道路交通法改正によつて、来年四月から六歳未満の乳幼児を乗せて自動車やチャイルドシートを着用が義務づけられることになっている。

大人のシートベルトは

標準装備されているが、チャイルドシートは別に購入しなければならぬ。しかし高額なため費用負担が大きいのか。チャイルドシートの普及、促進の意識啓発。

二、購入に対する助成金の実現。
三、リサイクル、レンタル制度の普及、支援の充実、この三点を強く要望したい。

市長 一、篠山警察署ほか、関係機関団体の協力を得て啓発中、秋の全国交通安全運動でも重点事項とし今後も市広報、チラシ等を考えている。
二、少子化対策臨時特例交付金制度の交付要綱の中で、個人の負担を軽減

するための事業は対象外とする、となつている。
三、県自動車整備振興会丹有支部では一か月無料貸出しを、交通安全協会でもレンタル事業を予定すると聞いている。

市は交通対策としてチャイルドシートを十二月補正に計上し、使用できるように早急に検討したい。

市主催行事について



松山 弘 議員

問 市が主催する行事について、事前に何も知らされない。実施前の計画については、事前に議会に対して報告があつても良いのではないか。市主催でありながら、市の主体性が乏しいのではない

か。昨年末で今田町では担当課を中心に、各課職員が準備から片付けまで、関係団体役員と共に実施していた。また、市主催の行事の場合の支所長の権限はどの程度与えられているか、来たる陶器まつり

つりには職員の要員が確保されているが、県関係や近隣市町の来賓客の接待関係はどうなるのか。ほかに職員定数の適正化について。

市長 市の大きなイベントは実行委員会方式で、企画立案し運営されている。

合併後は議員が実行委員会に参画しないことや、式典・催事が集中して、その都度相談・報告ができなかつた実情を今後

改善していきたい。市主催は担当部署が主体、支所管内の催事は支所長が実行委員会等の委員として参画対応する。

陶器まつりは西紀・丹南地区のイベントと重なり、共通したPRはもとより各イベントの実行委員会と緊密な連携・調整のもと円滑な運営に万全を期していきたい。



にぎわった陶器まつり



幼い命を守るチャイルドシート

篠山市内の文化遺産の 保存について



清水 充 議員

問 篠山市に多くの観光客が訪れてもらえるのも、歴史、文化遺産への郷愁からと思う。

旧篠山城下町を中心とした町並み保存、および市内の各地に保存すべき遺産が数多く存在すると

ならない。市内の尊い文化遺産を、どのように位置付けようとするのか、市長の考えを問う。

また文化財公開原則からプライバシーの尊重、保護維持経費等も慎重を期さなければならぬと考えるが、所有者、権限者等からの自主的な申し出等については、文化的価値を検討の上、指定し保存のたいと考えている。

市長 保護の対象となる有形文化財は数量的に多くすべて保護するわけにはいかない。当然選択が行われる。民家、商家や明治建築等のように破壊速度の著しいものは緊急性を加味して指定を

当面の教育課題について



森 本 長 寿 議員

問 一、新学習指導要領の教育現場での評価はどうか。

二、学習塾に対する文部省の方針が、否定的から共存へと転換されたが、三、新聞を教育に活用しよう（NIE）という運

動がある。総合学習の一課題として検討しては。四、教育現場では、不登校、学級崩壊など深刻な問題に直面している。管内の実情を伺いたい。五、真の学校開放は施設開放にあらず、学校情報

の公開と考える。教育長のご所見は。ほかに行行政改革の推進について。

教育長 一、新学習指導要領に積極的に対応、学校現場と教育委員会が一体となつて研究グループを組織し、各学校の実態に即した教育課程となるよう努める

二、完全週五日制の実施に伴う過度の塾通いをなくするため、学校の指導を充実させていく。

三、「教育に新しい可能性を持つもの」として新聞を活用しよう」という視点に立つて、今後研究していきたい。

四、不登校はやや増加傾向にある。学級崩壊については、現時点では報告を受けていない。

五、学校通信などにより、学校の教育目標や教育計画等を説明し理解を得る。



熱心に学ぶ子どもたち



文化遺産を守ろう

議会のうごき

(8月～11月)

8月

- 3日(火) 阪神市議会議長会(神戸市)
議会運営委員会
- 10日(火) 民生福祉常任委員会(所管事務調査)
- 12日(木) 文教常任委員会(所管事務調査)
- 25日(水) 第6回篠山市議会臨時会
全議員研修会
議員全員協議会
- 30日(月)～31日(火) 阪神市議会議長会研修会
(府中市)

9月

- 1日(水) 文教常任委員会(所管事務調査)
- 6日(月) 議会運営委員会
- 13日(月) 議会運営委員会
- 14日(火) 第7回篠山市議会定例会(第1日)
- 16日(木) 第7回篠山市議会定例会(第2日)
議会運営委員会
議会広報編集特別委員会
- 20日(月) 第7回篠山市議会定例会(第3日)
- 21日(火) 第7回篠山市議会定例会(第4日)
- 22日(水) 第7回篠山市議会定例会(第5日)
- 27日(月) 第7回篠山市議会定例会(第6日)
- 28日(火) 第7回篠山市議会定例会(第7日)

10月

- 7日(木) 議会広報編集特別委員会
- 12日(火) 阪神市議会議長会研修会(篠山市)
- 18日(月)～19日(火) 民生福祉常任委員会
(所管事務調査)
- 20日(水) 議会運営委員会
議会広報編集特別委員会
- 25日(月) 議会広報編集特別委員会
- 27日(水) 議員全員協議会

11月

- 3日(水) 議員、幹部職員研修
- 4日(木) 議会広報編集特別委員会
- 8日(月)～9日(火) 産業建設常任委員会
(所管事務調査)
- 15日(月)～16日(火) 総務常任委員会
(所管事務調査)
- 17日(水)～18日(木) 文教常任委員会
(所管事務調査)

環境保全と不法投棄について



畠中清光 議員

問 本郷つづみ峠にドラム缶(硫酸ピッチ)三十六本が不法投棄され、全国初の現状回復制度の適用を受ける大事件で市民に大きな不安を与えた。住民が健康で快適な生活を送れる景観づくりを

関係組織団体等一体となり実践しているが、市内各地各所の不法投棄の現状に行政としてどう把握され、対処されようとしているのか。防止対策として、段階的な年次計画と予算措置

市長 本郷つづみ峠の不法投棄については、犯人が特定され逮捕されたが、その他の場所においても一般廃棄物の不法投棄があり、地元の協力を得ながら撤去を行っているところである。不法投棄防止策として看板の設置や、設置の可能な所はネットフェンス

を張り防止を図っていききたい。最後に未然防止対策の環境保全監視員の導入については、投棄が夜間や早朝で現場の目撃が大変困難ではあるが、不法投棄を未然に防ぐことが一番であり監視員の導入について検討していきたい。



不法投棄されたドラム缶

主な 議 会 審 議 内 容

農業委員会委員30名に

第六回篠山市議会臨時会を八月二十五日に開催し、補正予算と工事請負契約を審議した。

第七回定例会は九月十四日から二十八日までを会期とし、篠山市農業委員会定数条例および、

十年度決算認定と平成十一年度一般会計並びに各特別会計の補正予算を可決、合わせて約十六億二千二百九十万円を追加した。

この他、農業集落排水みみたけ処理施設建設工事請負、水槽付消防ポンプ購入契約ほか四件の契約を認めた。

主なもの

- 旧城東中学校跡地整地工事 百四十万円(日置地内)
- 不法投棄防止用フェンス設置工事 百九十万円(本郷地内)
- 斎場建設実施設計および監理委託料 一千九百二十五万円(栗柄地内)
- 小型合併処理浄化槽設置補助金 一億三千二百十三万円
- 五千九十四万円(単独補助金)
- ごみ処理施設敷地造成工事 六千九百三万円(大山下地内)
- コミュニティプラント建設 二億三千二百八十七万円
- 農業施設等新設改良事業 (城南校区) 二千八百八十二万円
- 農村総合整備農業集落道整備 一千二百六万円(貝田地内)
- 中山間地域総合事業。パイプライン等工事 九百二十四万円
- 農山村ふるさと交流プラザ施設整備事業販売所建築工事 五百五十八万円(古森地内)
- 治山工事 九百八十七万円(和田地内)
- 消防団員制服 九百五十万円
- 篠山城跡二の丸整備工事 一千五百万円
- 公共土木施設災害復旧工事 一億三千二百十三万円

九月定例会最終日の九月二十八日、「篠山市農業委員会の選挙による委員会の定数等に関する条例制定について」の採決を行い、賛成多数で原案のとおり可決した。

条例では、まず農業委員のうち「選挙による委員定数は30人とする。」と規定、選挙については選挙区を設けることとし、各選挙区において選挙すべき委員の定数については、次のとおり。

なお、農業委員会委員選挙は平成十二年三月に行われる予定。

選挙区	およびその区域	定数
第1選挙区	第2選挙区から第6選挙区を除いた区域	6人
第2選挙区	篠山市城東支所所管区域	4人
第3選挙区	篠山市多紀支所所管区域	5人
第4選挙区	篠山市西紀支所所管区域	4人
第5選挙区	篠山市丹南支所所管区域 (ただし、旧丹南町古市地区を除く。)	6人
第6選挙区	篠山市今田支所所管区域および旧丹南町古市地区	5人



ごみ処理施設敷地造成工事中



オープンした丹波旬の市南本店

陳情・要望をうけました

(九月二十八日受付まで)

◆生活道路の改良と舗装改修工事を
般若寺^{はつたご}部落

日置総代

要望の主旨

当地区内の市道に連なる生活道路の改良並びにオーバーレイ実施個所ではあるが地盤軟弱のためクボミ・ヒビワレが目立っている道路について舗装改修工事を実施していただきたい。

◆官有林地の払い下げを
医療法人社団 小嶋医院

陳情の主旨

高齢者向けのケアハウス建設用地として官有林地の払い下げをお願いしたい。

◆河川堤防の改修を
今田町^{いまのまち}市原自治会

陳情の主旨

当地区内の未改修河川について早急に改修工事を実施していただきたい。

◆消防施設の整備充実を
消防団第六分団第四部

日置総代

要望の主旨

購入後二十三年が経過し老朽化が著しい水槽付消防ポンプ自動車^{しょうぼうし}の更新並びに現消防自動車庫の移転新築等をお願いしたい。

◆中央図書館建設構想に伴う要望
(旧)丹南町生涯学習
推進協議会ほか

要望の主旨

中央図書館建設構想のうちで次のことについて実現していただきたい。

- (1) 図書室、行政資料室、郷土資料室、考古資料室、民具展示室を設置し、幅広い層に親しみをもてる施設とされたい。
- (2) 郷土資料室の充実を図るため、旧町史の編纂資料、本郷図書館郷土史料の公開の実現を。

◆砂防河川堤防損壊個所の修復を
後川中自治会

陳情の主旨

当地区内の通称「火の谷川」堤防損壊個所の修復を早急に実施されるよう、県に働きかけていただきたい。

◆国道一七六号線草野大橋詰交差点に信号機設置を
草野地区、油井地区、古森地区

要望の主旨

国道一七六号線の交通量の増加と車のスピードオーバー等によって草野大橋東詰交差点の横断歩道の通行が極めて危険な状態にある。
地元住民の悲願である信号機の設置を早期に実現していただきたい。

◆市道の改修と認定等の実現を
今田町黒石自治会

要望の主旨

- (1) 当地区内市道の改修並びに生活道路の市道認定
- (2) 交通機関の充実を
- (3) 当地区内危険個所のガードレールの設置
- (4) 河川所有権についての措置

編集後記

道のない海辺の砂浜をバスが走る、篠山市身障会の皆さんを乗せ、一路能登半島千里浜海岸を北へと向った。白い波が高く車窓にもしぶきがかった。絵のよくな美しい風景と、道のない不安さに緊張と充実感が入り交った十月下旬の事であった。

市議会だより二号の編集に於ては前回の経験を活かし、委員一同結集し精一杯努力をいたしました。読みやすく、わかりやすい親しみある「市議会だより」編集にと更に研修を重ねたいと思っております。また議会傍聴にお越し下さいませ。

●編集・発行●
**篠山市議会
 広報編集特別委員会**
 〒669-2397
 兵庫県篠山市北新町41
 ☎(0795)52-1111
 ●印刷●
 (株)プリテック